



卒業迫る6年生…卒業まであと7日…

卒業の日が迫る6年生ですが、小学校生活の締めくくりに、卒業記念制作に取り組んでいます。その中の一つに、条幅用紙に書く習字の作品作りがあります。6年生一人ひとり、好きな四字熟語を選んで、気合を入れて心を込めて清書しました。四字熟語には、それぞれに言葉の持つ意味があるので、子どもたちの考えていることや気持ちが想像でき、それだけでも個性的な作品になります。条幅用紙はとて大きくて、普段半紙に書く字よりも大きい字を書かなくてはならないので大変そうです。6年生は、机の上で姿勢よく、ではなく、床の上に膝をついて体全体を片方の腕で支えて力強く書いていました。毎年お世話になっている講師の望月正巳さんが、丁寧に指導してくださいました。子どもたちの集中を途切らせないようにそっとアドバイスをくださり、児童も満足・納得のいく作品に仕上がったようです。その他の作品の、自画像、オルゴールもすでに完成しているそうです。きっと卒業式の会場を、飾ってくれることでしょう。



初めての挑戦でも、みんな上手でした！

卒業式練習も、今週から本格的に始まりました。在校生も、合唱練習や呼びかけの練習が始まって、同じように6年生も合唱練習に磨きをかけています。こちらも毎年指導をお願いしている中なほみ先生に、今週来週と、来ていただいております。ありコンが終わり、先日最後の吹奏楽の合奏練習も終了しましたが、今は毎日朝から校舎に歌声が響いています。合奏で培ってきた力を、合唱にも生かしてほしいと思います。



歌詞の意味を考えながら歌うといいよ！

また昨日、早川中学校卒業式に招かれて、参列してきました。同じ町内の学校ですし、4月からは卒業生がお世話になる学校ですので、興味をもって出席させていただきました。とても厳かで、しっかりと感動的な卒業式に、3年後の6年生の姿が重なりました。(初めて聞いた早中の校歌は、とても素敵な曲でした！)

節目としての卒業式…。本校の卒業式も、卒業生、在校生、保護者、ご来賓、そして教職員にとって、令和2年度の最後の大きな行事を、思い出残る式にしたいと強く思いました。



声がよく出ているね！伸ばす所はしっかりと！

東日本大震災から10年…

昨日は3.11でした。あの日から、もう10年が経ちました。6年生でも、当時は2歳…。10年ひと昔という言葉がありますが、全くそんなことはなく、今でも昨日のこのように思い出される悲しい記憶です。「担任から震災に関わる話をしてください」と依頼し、発災時刻には、みんなで黙とうを捧げました。復興の道半ばというニュースを見るにつけ、少しでも早い復興を祈るばかりです。

